



大森 正治 議員

安保関連法案の認識は？

町長

国会の議論を見守る

【大森】安保関連法案は、「平和」や「安全」を付けているが、本質は「戦争法案」である。後方支援、PKO法改定、集団的自衛権の行使、いずれの問題も自衛隊が海外で武力行使することは避けられない。これは憲法9条を破壊し、米国と二緒に海外で戦争する国に作り変えてしまうものである。

法案をどう認識しているか。憲法違反との認識は。政府への意思表示は。

【町長】国会での議論を見守りたい。

【大森】本町出身の自衛隊員は何人か。

【町長】合併後26人。

【大森】自衛隊の家族からの声はどうか。

【町長】大山町自衛隊父兄会総会では、自衛隊への協力、隊員への激励・支援をするのとこのだった。



大山口駅前の列車空襲慰霊碑

戦後70年、平和の取り組みは？

町長
今のところ
考えてない

【大森】終戦70年、被爆70年の節目の今年、町として平和の取り組みを実施しないか。

【町長】今のところ考えていない。

【大森】合併時に、議会で非核平和宣言を決議している。周知するために、標柱の建立や

町報での紹介はどうか。

【町長】議会と話ができればと思っている。

【大森】大山口列車空襲を体験した本町として、原爆展、映画会、講演会などの開催は。

【教育委員長】列車空襲平和祈念の集いをおく。ちばん重点におく。

町独自の「少人数学級」の実施は？

教育委員長

考えていない

【大森】行き届いた教育を行い教育効果を上げるために、「少人数学級」の実施が重要と考える。

小学校で35人か34人の学年は、町独自で「少人数学級」を実施したらどうか。

【教育委員長】県は、小学校3年以上を35人学級にしている。

学級の人数が少くなれば、教育効果が高まるという趣旨は理解できるが、現在の県の制度が適正な基準と考えており、町独自の実施は考えていない。



少人数学級で行き届いた教育を